

国家基本政策委員会合同審査会ニュース

H22.4.21 第174回国会第3号

4月21日(水) 第3回の合同審査会が開かれました。

1 国家の基本政策に関する件

・谷垣禎一君(自民)及び山口那津男君(公明)が、鳩山内閣総理大臣と討議を行いました。

(討議者及び主な討議内容)

谷垣 禎一君(自民)

- ・核セキュリティ・サミットにおいて米国大統領とワーキングディナーの冒頭に行った10分間の会談において何を話したのか。正式な会談を行うべきだったのではないかと。
- ・普天間基地移設問題について、「2014年までに危険性を除去する」とは返還を意味するのか。官房副長官が徳之島の3町長に会談を申し入れたそうだが、徳之島の住民を不安に陥れていることを踏まえ、そろそろ「腹案」の内容を明らかにしていただきたい。また、5月末までに職を賭して、この問題を解決する意思はあるのか。
- ・普天間基地移設問題で我が国の国際社会の信頼を失墜させ、財源なきバラマキによって財政が破壊されることで国民生活の明日が破壊され、政治とカネの問題やマニフェスト違反に対して誰も責任を取らないことで政治と国民の信頼関係を壊した鳩山内閣総理大臣は責任をとるべきであると思うが、いかがか。

山口 那津男君(公明)

- ・鳩山内閣総理大臣に係る政治資金規正法違反事件について、元公設第一秘書に対して国会の証人喚問又は参考人招致に応じるよう説得し、刑事裁判に提出した資料を国会に提出し国民に説明すべきだと思うが、いかがか。
- ・普天間基地移設問題のために、核軍縮、核不拡散、気候変動等の他の重要な課題の日米間の議論が進まないこと、また普天間基地移設問題が決着しなければ、海兵隊のグアム移転や嘉手納以南の基地の返還等の他の問題も進まないことについて、どのような認識を持っているのか伺いたい。